

2022年度 AI・データサイエンス基礎 自己点検・評価報告書

2023年3月3日

聖心女子大学

「AI・データサイエンス基礎」準備・実施ワーキンググループ

授業の概要

到達目標

AI技術の利用やデータの読み取り・可視化についての利点と注意点を整理した上で適切な取り扱いの重要性や方法を知ることと、これら技術と持続可能な社会の構築との関連性を理解すること。

授業計画概要

1	ガイダンスならびにデータサイエンスの背景
2	日本社会の変化とデジタル社会の到来
3	社会で活用されている様々なデータ
4	AI（人工知能）の歴史と発展
5	AIの強みと弱みならびに活用の課題
6	データ活用におけるモデルと分析アプローチ
7	データ・AIの利活用の現状
8	データ・AIの利活用の最新動向
9	データの種類と読み取り
10	限られたデータからの読み取り
11	データの効果的な説明と実際の違い
12	データ・AIを扱う上でのモラルと権利
13	データ・AIを扱う上でのバイアスの考慮
14	データを守る情報セキュリティならびにまとめ

2022年度 AI・データサイエンス基礎 履修実績

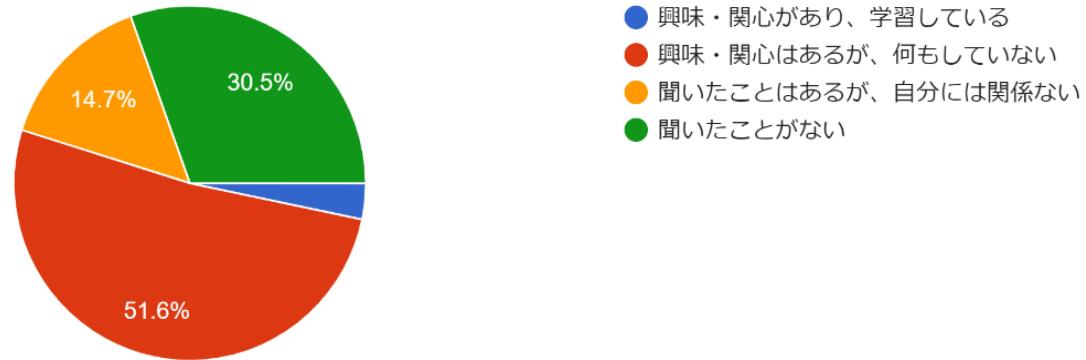
期	科目名	履修者数(名)	修得者数(名)	修得率(%)
前期	AI・データサイエンス基礎A	578	530	91.7
後期	AI・データサイエンス基礎B	46	36	78.3

- ・前期のAI・データサイエンス基礎 Aクラスで修得できなかった学生を対象として、後期にBクラスを開講した
- ・2022年度に修得できたのは前期・後期の合計で566名となり、修得率は97.9%となった

AI・データサイエンス基礎（事前アンケート）

1. データサイエンスという学問領域に関してあなたの考えに近いものをお選びください。

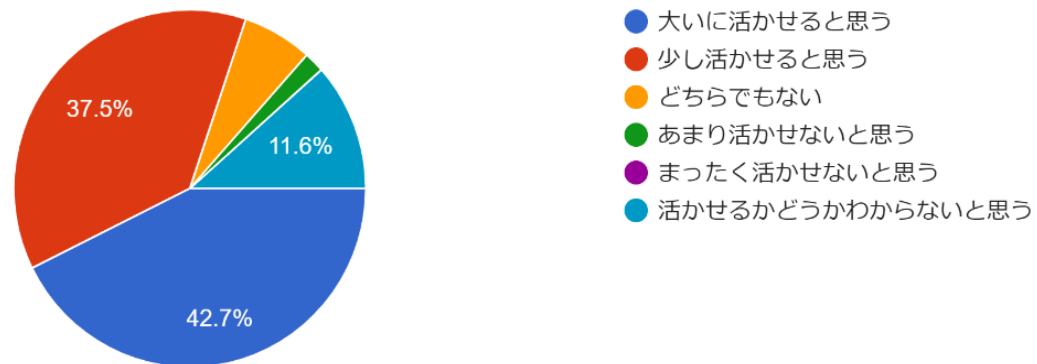
640 件の回答



2.

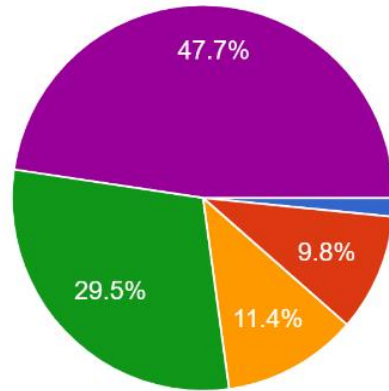
本講義で得られるデータサイエンスの知識が、あなたの将来に活かせるかどうかについて、あなたの考えをお選びください。

640 件の回答



3. 数学の得意苦手について、お選びください。

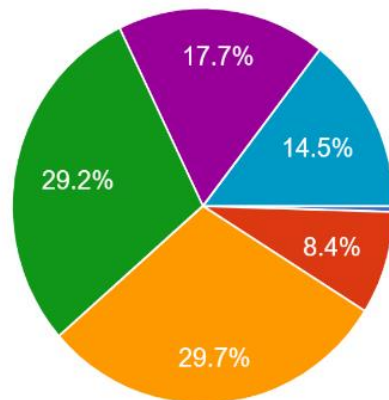
640 件の回答



- とても得意
- やや得意
- どちらでもない
- やや苦手
- とても苦手

4. PCスキルの得意苦手について、お選びください。

640 件の回答



- とても得意 (例) プログラミングができる
- やや得意 (例) 表計算ができる
- どちらでもない
- やや苦手
- とても苦手
- そもそもPCを今までほとんど触ったことがない

5.本講義に期待している点について、ご記入ください。（自由記述）

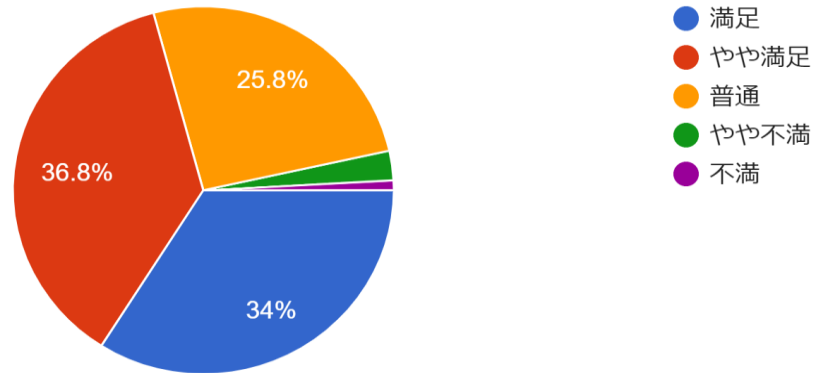
※回答数が多かったもの

- ・ AIやデータサイエンスについて詳しく学ぶこと
- ・ PCスキルの向上
- ・ 数字やパソコン操作に苦手意識があるので克服できるようになりたい

AI・データサイエンス基礎（事後アンケート）

1. 本講義を受講しての満足度をお選びください。

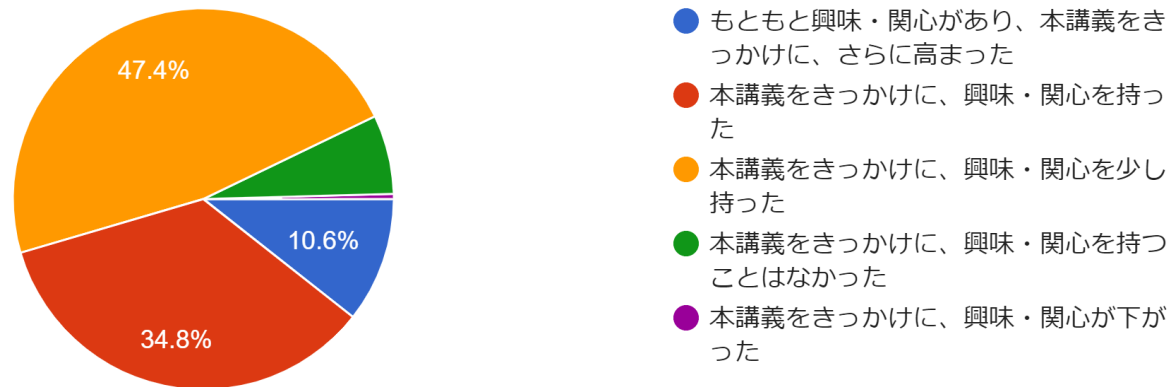
462 件の回答



2.

本講義を受講し、データサイエンスという学問領域に関して、あなたの考えに近いものをお選びください。

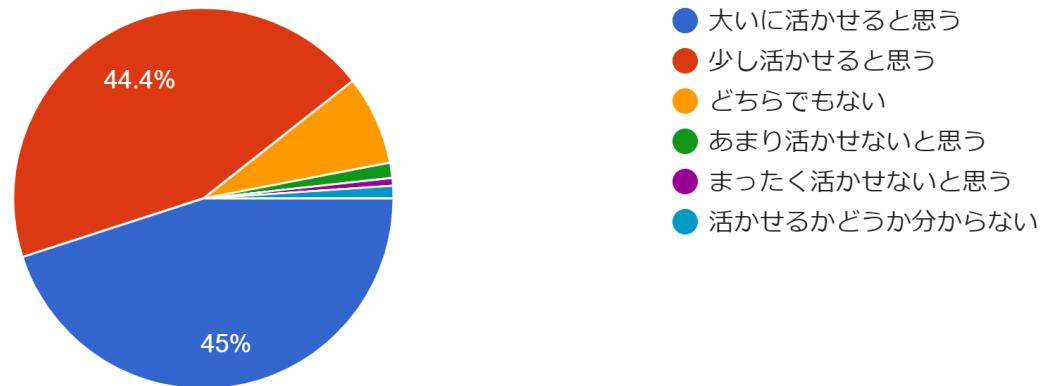
462 件の回答



3.

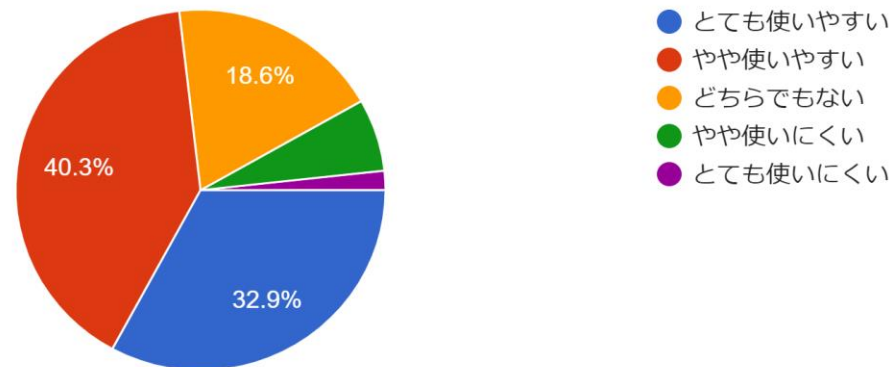
本講義で得られたデータサイエンスの知識が、あなたの将来に活かせるものだったかについて、あなたの考えをお選びください。

462件の回答



4.本講義を受講して、eラーニングの操作面についての満足度をお選びください。

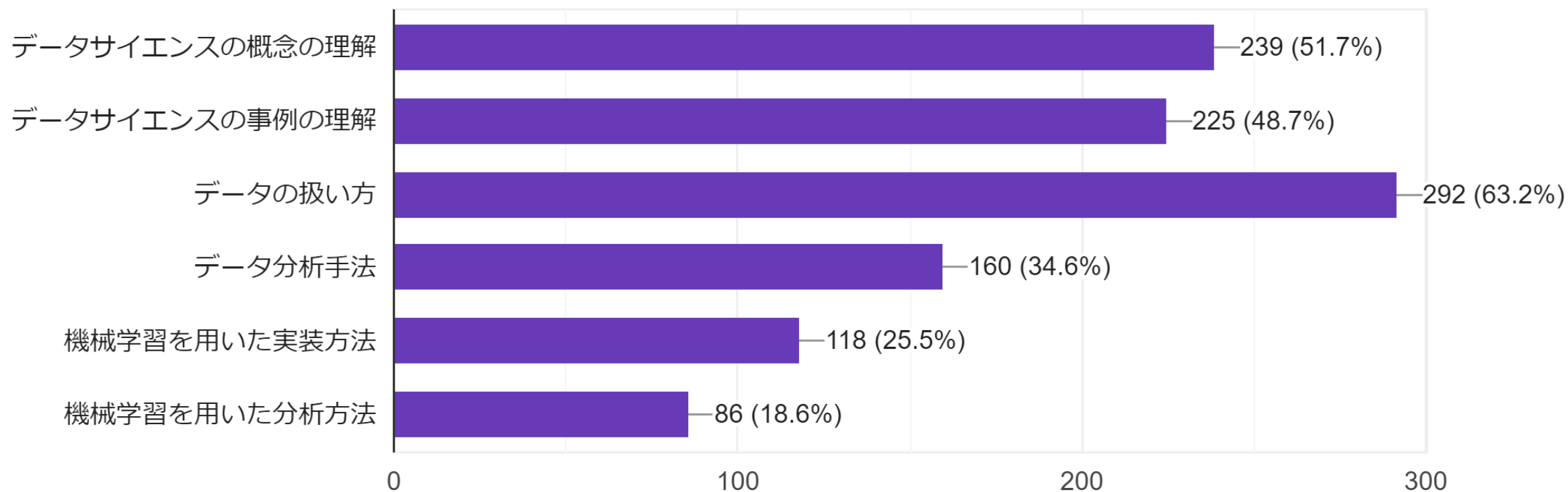
462件の回答



5

本講義を受講して、あなた自身が身に付いたと思うことについて、お選びください。（複数回答可）

462 件の回答



6.本講義を受講しての感想を教えてください。（自由記述）

※回答数が多かったもの

- ・ AIやデータサイエンスについての知識が身についた
- ・ 苦手意識を無くすことが出来た
- ・ オンデマンドだったので分からない場合も何度も巻き戻すことが出来たので、自分のペースで遅れることなく学習できた
- ・ 動画が短く区切られていた点良かった
- ・ エクセルの使い方の説明がわかりにくかったため、もう少し詳しい説明が欲しかった

AI・データサイエンス基礎（事前・事後アンケート結果まとめと後期に向けた課題）

- ・ データサイエンスという学問領域に関して
事前アンケート結果では、「聞いたことはあるが、自分には関係ない」「聞いたことがない」という消極的な回答が45.2%と多かったが、
事後アンケート結果では、92.8%の学生が「興味・関心を持った」と回答しており
本プログラム受講後に肯定的な回答に転じたことが読み取れる。
- ・ 事後アンケートでの満足度は、70.8%の学生が「満足」「やや満足」と回答しており
初めてのプログラムとしては満足度が高かったのではないかと考えている。
- ・ 講義で得られた知識が将来に活かせるものだったかとの問いに対して
89.4%の学生が「大いに活かせると思う」「少し活かせると思う」と回答しており
AIに関する知識と技術を学び、それを活用する基礎的な能力を獲得するという本プログラムの目的を
ある程度達成したと言えるのではないか。
- ・ 前期の修得状況と事前・事後アンケート結果を踏まえ、改善できる点が無いかを検討し、
後期の履修者については少なくとも半数以上の合格を目標とすることを確認した。

AI・データサイエンス基礎（前期からの改善結果と次年度に向けた改善計画）

- ・前期からの後期の改善結果
課題掲載の曜日・時間ならびに提出期限の曜日・時間を統一した。
履修状況に関して個別にリマインドを実施した。

その結果、後期の履修者における合格者は78%となった。

- ・次年度に向けた改善計画

1)システムの改善

課題提出済であることがわかりやすくなるよう改善する。
Googleクラスルームを活用した双方向サポートを充実する。
個々人の履修状況を詳細に把握し、リマインドの精度を上げる。

2)対面サポートの充実

メディア学習支援センターで、操作方法等の支援を定期的実施し双方向性を確保する。

4)学習教材の充実

メディア学習支援センターに参考書等の学習教材を揃え、学習のさらなる支援を図る。

3)対面によるセミナーの実施

希望者に対して、実践的・発展的な内容を扱うセミナーを実施し、学習のさらなる深化を図る。